



学校だより 11月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年10月31日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

皆で創り上げる

校長 寺園 淳

今の時期、夜明け前、澄み切った東の空に強く輝く金星を見ることができます。この星の輝きを見てみると自然の神秘さを感じます。

11月18日（土）、横浜武道館において石川小学校150周年記念式典が予定されています。この日は南区長 高澤 和義 様、横浜市教育委員会教育委員 四王天 正邦 様をはじめ、多くの来賓の皆様にご出席いただき、式典を進めてまいります。私が5年前、石川小学校に着任したときにもった感想は、保護者の皆様の中に本校の卒業生が多くいらっしゃる、地域の方々が石川小学校に対して強い愛着を持っていらっしゃることでした。だからこそ、私が校長として150周年を迎えることができるのであれば、保護者の皆様、地域の皆様と共に周年を祝いたいと考え、会場を横浜武道館にしました。当日は式典のほか、子どもたちがこれまでに身に付けてきた学習の成果を発揮し、学習発表を行います。子どもたちが一生懸命に取り組む姿に盛大な拍手を送っていただくようお願いいたします。

また周年に向けて、記念誌の発行（配付は後日）や記念グッズの制作が行われました。ここでも実行委員長の高田 伸行 様をはじめ、PTAの皆様の熱意にあふれたご協力のおかげで、それぞれ150周年をお祝いするのにふさわしい仕上げとなりました。まさに「みんなの150周年、みんなで実行」を具現化していると考えます。

10月20日（金）、全校遠足で根岸森林公園に行ってきました。少々風が強く吹いていましたが、天気にも恵まれ、子どもたちは思い切り体を動かし、仲間との触れ合いを楽しみました。今年のテーマはT（とくべつ）T（たのしむ）S（しぜんにスマイル）150～特別な150にしよう！～でした。このスローガンにあるように今年は特別にポイントラリーのコースの範囲を大きく広げ、活動を十分に楽しめるよう、工夫しました。全校遠足で毎年みられる光景は6年生や5年生がリーダーシップを発揮する姿です。広い公園のポイントを回る中で疲れてしまった1年生にやさしく声をかけたり、中にはグループ行動から離れてしまった子の面倒を見たりと大活躍していました。石川小で育む優しさを感じる素敵な一日でした。

10月18日（水）、関内ホールで開催された平楽中学校合唱コンクールを鑑賞しました。コンクールは各学年、クラスごとに歌声を披露します。曲目がアナウンスされ、同時に指揮者と伴奏者が紹介されます。「あの子が指揮をするんだ。この子が伴奏者なんだ。」とその紹介を聞いたたびに小学校時代の顔を思い浮かべていました。どのクラスも中学生らしい力強い、豊かな歌声でした。このコンサートで私が感心したのは歌声だけではなく、一つ目は学年全体での合唱の時に、歌っている姿に視線を向け、聴く姿勢でした。もう一つは司会の生徒が休憩を終えプログラムを進めるとき、一言「静かにしてください。」と声をかけると、ずっと会場が静まる姿でした。流石、平楽魂です。やるときはやる姿に頼もしさを感じることができました。

記念式典まで残り18日となりました。石川小学校の大きな節目が、子どもたちをはじめ、保護者の皆様、地域の皆様の心に強く残ることを願っています。温かいご支援をよろしくお願いいたします。